

都市再生整備計画(第2回変更)

ぬ ま た し ちゅうしん し が い ち
沼田市中心市街地地区

ぐ ん ま ぬ ま た
群馬県 沼田市

平成26年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	ぬまた沼田市	地区名	ぬまたしちゆうしんしがいいちちく沼田市中心市街地地区	面積	66 ha
計画期間	平成22年度	～	平成26年度	交付期間	平成22年度	～	平成26年度

目標

暮らしやすくにぎわいのある居心地の良いまちづくり

小目標1 中心市街地のにぎわい復活

小目標2 安心して快適に暮らせる居住環境の創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、古くより利根沼田地域の商業・行政・文化等の中心としての機能を担ってきたが、細長く使いにくい土地形状、狭い路地、主要幹線でありながら狭く段差のある歩道等、都市基盤整備が非常に遅れている。加えて近年の郊外への市街化移行により、商業の衰退と人口の郊外への流出が著しく、空洞化が進行している。平成10年度より着手した土地区画整理事業によって、土地の区画形状の変更及び公共施設の整備改善を進めるとともに平成11年1月に「沼田市中心市街地活性化基本計画」を策定し事業を進めている。平成10年に地元関係者により「まちづくり協議会(平成14年解散)」が発足、平成15年に権利者組織である「中心市街地活性化の会」が結成され、安全で安心して住めるまちを目指し、話し合いが進められている。都市基盤整備については、都市再生区画整理事業、まちづくり総合支援事業、まちづくり交付金事業(第1期)と継続的に事業を進める中で、新たなまちづくりが進んでいる。

課題

・中心市街地においては、商業の衰退と人口の郊外への流出が著しく、いわゆる空洞化が進んでいる。旧来の商店街機能は、郊外型のショッピングモールによって、その意義が薄れており、中心市街地は、商業地域から商住混在地域への転換が求められているが、細長く使いにくい土地形状が支障となり土地の利活用が進んでいない。

・地区内道路は幅員が狭く、幹線道路の歩道についても幅員は狭く段差があり歩行しにくい。また公道に接しておらず公共下水道に接続出来ない宅地があるほか、住民交流、外来者交流の拠点も不足しているなど、都市基盤の整備が遅れており、中心市街地に居住する高齢者や生活弱者にとって生活しにくい環境となっている。

将来ビジョン(中長期)

・第5次総合計画により、土地区画整理事業をベースとした中心市街地活性化計画の考え方に基づき、基盤施設の整備、商業・業務機能の整備、居住機能の整備、福祉機能の整備、歴史、文化機能の整備及び交流・観光機能の整備を進めるとともに、これらに合わせたソフト面の施策に力を入れながら、「やさしさとにぎわいに出会える街」づくりを総合的に推進する。

・都市計画マスタープランでは、空洞化の進行が見える中心市街地においては、面的整備などによる中心市街地の再整備とともに、周辺部における基盤施設の先行的な整備や用途地域等による規制・誘導方策の実施など、スプロール化への対応が必要であり、豊かな自然の保護・育成と、利根沼田の中核として産業の活力や都市としての魅力の創出による「居ごちの良いまち」の形成を目指すとの基本理念を定めている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
休日歩行者数	人／日	地区の中心である本町通りの休日歩行者数	休日歩行者数の増加を図り、にぎわいと歩き易さの度合いを測る。	648	H21	700	H26
イベント開催数	日／年	各種団体主催の商業・文化イベント等の開催延日数	集客イベント等の開催数によりにぎわいの度合いを測る。開催数の現状維持を目指す。	25	H20	25	H26
住宅・店舗数	戸	区画整理重点整備地区内の住宅数、店舗数	住宅・店舗の再建数により居住環境の改善度合いを測る。現状の住宅・店舗数の維持を目指す。	30	H21	30	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・整備方針1(中心市街地のにぎわいの復活) 土地区画整理事業の整備促進により、公共施設の整備改善と土地の有効活用、高度利用の促進、商業、居住、交流等の都市機能の充実を図り、市街地の再生を図るとともに、県指定文化財である「旧沼田貯蓄銀行」を移築修繕し、市街地の核として地域交流センターを整備する。		・既存建造物活用事業:(仮称)旧沼田貯蓄銀行地域交流センター ・土地区画整理事業:沼田市中心市街地土地区画整理事業 ・地域創造支援事業:生方記念文庫移設事業 ・地域創造支援事業:商店街にぎわい創出事業
・整備方針2(安心して暮らせる居住環境の整備) 土地区画整理事業の整備促進による公共施設の整備改善、上下水道の移設及び新設、歩道整備等、都市基盤の整備により、安心して快適な居住環境の整備を図る。		・土地区画整理事業:沼田市中心市街地土地区画整理事業 ・地域創造支援事業:上下水道事業
その他		
○事業終了後の継続的なまちづくり活動		
・地域住民が主体となって取り組むまちづくり活動が継続するように、情報提供や連携・支援体制の強化・充実を図る。		
○交付期間中の計画管理		
・交付期間中において、目標達成に向けて確実な効果を上げるため、モニタリングを実施する。		
・土地区画整理事業の権利者組織である「中心市街地活性化の会」役員会において事業進捗状況を報告するとともに、全権利者に対し、年に2～3回程度「まちづくり情報」を送付している。		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	790	交付限度額	316.0	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内事業費		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路														
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—			—									
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業		—	沼田市	直	—	H22	H26	H24	H26	164	164	164		164
土地区画整理事業		沼田市中心市街地地区	沼田市	直	8.8ha	H10	H26	H22	H26	5,887	536	536		536
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										6,051	700	700	0	700

事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	生方記念文庫移転事業		沼田市	直		H22	H26	H22	H26	80	80	80		80
	上下水道事業		沼田市	直		H22	H26	H22	H26	5	5	5		5
事業活用調 査		—			—									
		—			—									
まちづくり活 動推進事業	商店街にぎわい創出事業	—	沼田市	間	—	H22	H26	H22	H26	5	5	5		5
合計										90	90	90	0	90

合計(A+B)	790
---------	-----

[illegible]

沼田市中心市街地地区(群馬県沼田市)	面積	66 ha	区域	上之町、中町の全部と東倉内町、西倉内町、材木町、馬喰町、坊新田町、下之町、鍛冶町の一部
--------------------	----	-------	----	---

